

# 第3学年A組 美術科学習指導案

令和5年5月23日(火)  
第2校時 美術室  
指導者 教諭 小西悟士

1 題材名 「○○を着る！～ファッションの可能性を考える～」  
【第3学年】A表現(1)ア(ア)、B鑑賞(1)ア(ア)、〔共通事項〕(1)ア、イ

## 2 題材について

### (1) 生徒の実態

本校の生徒は学習意欲が高く、自らの考えたことや感じたことを能動的に発言し、意欲的に取り組む生徒が多い。自由の高い課題においても、積極的に道具や材料に触れ、楽しみながら制作を行っている。上記の様子から、より自由度の高い題材を設定し、主体的に構想を練ったり表現の意図に合わせて道具や材料を工夫したりしながら創造活動の喜びを味わわせたい。

### (2) 本題材を指導するに当たって

本授業では、ファッションという行為を通してそれぞれが設定したテーマについて探究すると共に、実社会におけるファッションのもつ可能性について探求していくものである。

私たちは誰もが日常的に衣服を身にまとい生活している。その点においてファッションとは非常に身近なものであるはずだが、意外とその役割等について考える機会は少ない。私たちは身につけている衣服や髪型等によってその人がどんな人物なのかを予想する。制服に代表されるように、共通の衣服を着用することでコミュニティへの所属感を得る一方、規範意識に縛られ、そのコミュニティにふさわしい「らしさ」を強要されることもある。このようにファッションは私たちを表す記号であり、その人らしさを表す。またファッションは私たちの生活に密接であるが故、地域、文化、宗教、社会の規範、性のあり方、障害の有無、趣向、素材、環境等、様々な要素から成り立っている。それはつまり、ファッションについて考えていくための視点が多いということである。

これまでの学校教育の中では、ファッションについては「衣服」として家庭科の中で扱われていることが多く、中学校美術科の授業ではあまり取り上げられてこなかった。本授業ではファッションの表現の部分と、それを成り立たせる多様な要素に目を向け、探究的な題材を実践することとした。

なお、本題材は、足利短期大学講師、茂木克浩先生と共同研究を行う。

## 3 学習指導要領上での位置付け

A表現(1)ア(ア)、B鑑賞(1)ア(ア)、〔共通事項〕(1)ア、イ

## 4 目標・〔共通事項〕及び評価規準（※〔共通事項〕ア、イはア\_\_\_\_、イ\_\_\_\_\_で示す。）

### (1) 題材の目標

- ・ 形や色などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 〈知識及び技能〉
- ・ 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って表す。 〈知識及び技能〉
- ・ 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像や感情などを基に主題を生み出し、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・ 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・ 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。 〈学びに向かう力、人間性等〉
- ・ 美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 〈学びに向かう力、人間性等〉

### (2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①形や色などの性質及びそれらが感情にもたらす効果を理解している。	発①対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像や感情などを基に主題を生み出している。	主①主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わっている。
知②造形的な特徴などを基に、		主②美術を愛好する心情を深め、

<p>全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p><b>技①</b>材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求している。</p> <p><b>技②</b>制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って表している。</p>	<p><b>発②</b>材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑</b>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>心豊かな生活を創造していく態度を養っている。</p>
--	---	-------------------------------

### 5 指導と評価の計画（10時間計画）

	課題に対する問い（☆） 学習内容（○）	【目標】（目）、指導上の留意点（・）、具体的な評価規準（知・思・鑑・主）
1	<p>☆「ファッション」とは何か考えてみよう。</p> <p>○「ファッション」をキーワードに調べ学習を行い、それをもとに現段階で自分なりにファッションについての考えをまとめる。</p>	<p><b>目</b>「ファッション」について調べ学習を通して自分なりの考えをもつ。</p> <p>・「なぜ美術の授業でファッションを扱うのだろうか」という問いかをする ことで「ファッション」と「アート」や「表現」とのつながりという視点をもてるようにする。</p> <p><b>思①</b>感じ取ったことや考えたことなどを基に、表現の構想を練っている。【観察・対話・表現・記述】</p> <p><b>主①</b>主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わっている。 【観察・対話・記述】</p>
2	<p>☆ファッションで表現するテーマを考えてみよう。</p> <p>○ファッションをもちいて表現するテーマと個人で行うかグループで行うかを定める。</p>	<p><b>目</b>ファッションを用表現活動を通して考える。</p> <p>・表面的なものにならないように、関心をもったテーマについて多角的な視点から調査をするようアドバイスをする。</p> <p>・制作への関心の高まりとテーマへの探究を深めるために、クラス間を超えてグループを組んでもよいものとする。</p> <p><b>思①</b>対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像や感情などを基に主題を生み出している。【観察・対話・記述】</p> <p><b>主①</b>主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わっている。 【観察・対話・記述】</p>
3 4 5 6 7 8 9	<p>☆テーマを元に身につけるアイテムを作成しよう。</p> <p>⑤ ○自らが設定したテーマに合わせて、身につけるアイテムの具体的なアイデアを練る。</p> <p>○材料や用具、表現方法の特性を生かして自分のテーマに合ったアイテムを作成する。</p>	<p><b>目</b>自分が設定したテーマを、効果的に表現するための方法を考え、アイテムを具体化する。</p> <p>・制作のプロセスについては、具体的なアイデアを考えてから制作にとりかかっても、素材を触りながら少しずつアイデアを具体化しいってもよいものとする。</p> <p><b>知①</b>形や色などの性質及びそれらが感情にもたらす効果を理解している。 【観察・対話・表現・記述】</p> <p><b>知②</b>造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。【表現・記述】</p> <p><b>技①</b>材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求している。【観察・対話・表現・記述】</p> <p><b>技②</b>制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って表している。【観察・対話・表現・記述】</p> <p><b>思②</b>材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。【対話・表現・記述】</p> <p><b>主①</b>主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わっている。 【観察・対話・記述】</p>
10	<p>☆発表会をしよう。</p> <p>○質疑応答を通して、自らの考えや作品への理解を深める。</p> <p>○これまでの授業を振り返</p>	<p><b>目</b>自分の考えたテーマ表現するためにどのような工夫を行ったのか発表すると共に、ファッションのもつ可能性について自分の考えをもつ。</p> <p>・発表や質疑応答において生徒が活発に発言できるよう働きかける。</p> <p><b>主②</b>美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養っている。【発言・観察・対話】</p>

りながらファッションのもつ可能性について自分の考えをまとめる。	鑑造型的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。【観察・対話・記述】
---------------------------------	--

**6 指導計画（10時間扱い）**

- (1) ファッションについて考える。…………… 50分
- (2) テーマを考える。…………… 50分
- (3) 制作を行う。…………… 350分
- (4) 発表会。…………… 50分

**7 本時の学習（5/10時間）**

(1) 目標

自分の設定したテーマを表現するために、適した素材・道具・表現方法を考え構想を練る。

〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 準備

○教師：パソコン、プロジェクター、その他制作に必要な道具

○生徒：タブレット端末、その他制作に必要な材料

(3) 展開

過程時間	学習活動	指導の工夫 （〔共通事項〕に係る内容 ア____、イ_____）	評価と手立て 観点：評価規準【評価方法等】 ◎：十分満足できる状況 ◆：B評価に達しない生徒への手立て
導入 5分	提案 自分の設定したテーマを表現するために適した素材・道具・表現方法を工夫しながら制作しよう。		
	○本時のねらいと、活動の内容を知る。	○前時の学習の記録を振り返りながら、各自で本時の目標を設定する。 ○この授業は制作までのプロセスは一人ひとり違うので、自分に合ったやり方で進めていいことを説明する。	思自分の設定したテーマを表現するために、適した素材・道具・表現方法を考え構想を練っている。【観察・表現・対話】
展開 35分	○前回の授業に引き続き、各自、自分のテーマを表現するためのアイテム制作を行う。	○ <u>主題を効果的に表すために表現意図に合わせた素材や色彩、形</u> を工夫し、構成を練ることができるようにする。 ○形ができてきた生徒には、自分で身につけたり、周りの人に身につけてもらったりしたものを <u>見る</u> ことで、自分のイメージに近づいているか確認するよう声をかける。 ○実験の過程を写真に撮り、記録するように声掛けを行う。	◎試行錯誤を繰り返しながら、自分のテーマに適した素材や道具、表し方を積極的に考えている。 ◆生徒の自由な発想の妨げにはならないよう注意しつつ、机間巡視しながら声掛けを行う。悩んでいる生徒には表現方法の例などを挙げながら活動を促す。

まとめ 10分	○タブレットで作品の写真を撮り、道具等を片付け、振り返りをする。	○それぞれ活動の進め方が異なるため、使用した道具や材料は各自で責任持って片づけるよう声掛けを行う。 ○本時の記録が次時への学びにつながるので、レポクラフト用いてをしっかりと記入するように指示する。	
------------	----------------------------------	---	--